

経営発達支援事業評価シート

評価基準

- A: 目標を達成することができた(100%以上)
 B: 目標を概ね達成することができた(80%～99%)
 C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30%～79%)
 D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)

I. 経営発達支援事業の内容

事業	項目	6年度		実施した事業実績	6年度
		目標	実績		評価
1. 地域の経済動向調査に関すること	①RESAS活用データの公開活用	1回	1回	事業計画策定には地域経済動向を捉えたRESSA活用を促し、活用している。	A
	②龍泉洞の観光客等の動向情報の公開回数	12回	12回	毎月提供により把握し、ホームページでグラフに示し公開している。	A
	③全国・地域動向情報公開回数	4回	4回	中小企業景況調査(15社・年4回)実施。	A
2. 需要動向調査に関すること	①消費者ニーズ調査結果の提供の提供件数	5社	5社	商品券販売にあわせ消費動向等の独自調査(3回)実施し、計画策定に活用。	A
	②地域外に販路を求める需要動向調査	5社	6社	新商品開発にあたり取引先から需要動向を把握し、商談に臨み成約を得た。	A
	ア. 岩泉まつたけ事業者対象者数	3社	3社	ネットショップ購入者等のレビューをデータ解析して販売向上を図った。	A
	イ. いわいずみ炭鉱ホルモン鍋対象者数	2社	3社	ホームページで岩泉ホルモンの作り方等を紹介、3社の商品をアピールして普及を図った。	A
	③商談会及び展示会の需要動向調査	4社	5社	いわて食の商談会名古屋出展78・いわて銀河プラザ出店132、結の場3社14件調査。	A
	ア. 各種食品の支援対象者数	2社	5社	いわて食の商談会(名古屋)出展、復興庁「結の場」商談、仙台・首都圏出店新精肉販売	A
	イ. 木材関連の支援対象者数	2社	2社	岩泉町特販部の支援に加わり、東京銀河プラザで来場者等から岩泉町のクラフト出展者の需要動向調査を行った。	A
3. 経営分析に関すること	①経営分析件数	40件	43件	事業者の経営改善や補助金申請、政策執行者として事業計画が必要な際には経営分析の支援を行った。	A
4. 事業計画策定支援に関すること	①事業計画策定件数	18社	21件	融資や持続化補助金、経営革新、賃金アップ県補助金等の事業計画策定件数。	A
	②事業承継計画策定件数	2社	2件	事業承継アンケートやヒアリングによって状況把握しているが承継2件。	A
	合 計	20社	23件	上記の件数の合計	A
5. 事業計画策定後の実施支援に関すること	フォローアップ対象者事業者数	20社	23件	事業計画を策定した事業者や計画実施中の事業者等のフォローアップを展開。	A
	頻 度(延回数)	80社	83社	事業計画を策定したすべての事業者を対象に四半期毎の支援を目指している。	A
	売上の増加事業者数	5社	7社	事業計画が順調に推移し、売上増加が確認できる	A
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	①岩泉まつたけのブランド化の推進支援対象事業者数	7社	7社	岩泉まつたけのブランド化を図る組合員及び対象者の支援。	A
	ア.新たな成約件数／社	1社	3社	はこピュン(JR)で百貨店に販売、クロネコ関連企業を通じ、首都圏の飲食店開拓。	A
	イ.松茸小屋開催によって売上増加	20万円	302万円	利用客610名(前年54%増)で、目標は達成、季節限定の強みを存分に活かした。	A
	②いわいずみ炭鉱ホルモン鍋の出展事業者数	3社	17社	各17社のホルモン鍋をホームページで顧客に周知している。ホルモンマップの刷新のため、顧客情報と店舗の特徴を取り纏め中である。	B
	売上増加額／社	10万円	183万円	いわいずみ炭鉱ホルモン鍋発掘隊の町外(材木町余市等)出店の効果により、岩泉町に顧客の誘引が図られた。	A
	③広葉樹木材製品の販売促進支援事業者数	2社	2社	昨年モクコレ出展がきっかけとなり、支援先「木のたまご」が木育の趣旨に共感した事業者等より受注を得た(5,000個納品)	A
	成約件数／社	1社	1社	オリジナル製品の制作注文、モクコレ出展商品成約あり。木のたまご	A
	④岩泉の食の販売促進支援による事業者数	2社	4社	精肉食品、大手カタログ契約、松茸の商談、加工食品。	A
	成約件数／社	1社	4社	JR東日本商事、柿安、カタログ販売社、加工食品	A

II.経営発達支援事業の円滑な事業に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	6年度		実 績	6年度
		項 目	項 目		項 目
7. 事業評価及び見直しをするための仕組みに関すること	①事業評価委員会の開催	3回	1回	経営発達支援計画事業の進捗状況の共有や課題、今後の対応策等について検討するため評価委員会を1回開催した。	A
	②事業評価委員会のホームページへの掲載	1回	2回	事業評価委員会を終了後に経営発達支援計画の最終的な評価結果を当会ホームページに開催した。	A
8.経営指導員の資質の向上等に関すること	①外部招聘への参加及び資質の向上の取組み	随時	随時	岩手県商工会連合会の職員向け研修会に参加。専門家派遣に帯同しノウハウ習得に努めた。	A
	②実施による全職員の資質の向上	随時	随時	岩手県商工会連合会の広域指導員によるOJTの実施や専門家派遣支援時に職員が同席し、そのスキルの取得に務めた。	A
	③支援ノウハウ等情報共有化	随時	随時	経営支援機関システム「商工会イントラ」を活用し、職員間で支援情報のスムーズな情報共有を行った。	A

